

つながる力、変える力

International Solidarity - 国際連帯



目次 | AGENDA

1

CURRENT REALITY

いま、現場で
何が起きている？

2

WHAT IS ITF?

ITFって、
ナニモノ？

3

ITF IN ACTION

ITFが動く！
リアルな連帯のチカラ

4

GLOBAL FRIENDS

国境を越えて
つながる仲間たち

5

YOUTH & WOMEN

青年・女性の活躍が
未来を変える

6

YOUR FIRST STEP

あなたができる
第一歩

CORE QUESTION

国境を越えて働く仲間と、私たちはどう「つながり」、何を「変える」ことができるか。
この6つを順番にたどりながら、「自分のこと」として持ち帰れる答えを一緒に探していきましょう。

いま、現場で何が起きている？

— 交通運輸労働者を取り巻く環境の変化 —

交通運輸労働者を取り巻く環境の変化

現場で同時に起きている 5つの大きな変化。どれも一国や一組合では解決できない、横断的な課題です。

1 AI・デジタル化・自動化の進展

仕事のかたちが急速に変わる。AIに任せられる仕事と、人にしかできない仕事の境目が問われる。

2 グローバル・サプライチェーンの拡大

世界の物流が一本につながった。巨大プラットフォーム企業の誕生で、現場の力関係も変化。

3 不安定雇用の拡大

人手不足が進む一方、非正規・有期雇用・ギグワークが拡大。賃金格差と社会保障の脆弱化が同時進行。

4 女性・多様な労働者への課題

若者・女性・外国人労働者への期待が高まる一方、職場環境・制度・文化の追いつきが課題。

5 気候変動と「公正な移行(Just Transition)」

脱炭素・エネルギー転換のしわ寄せが現場に。誰一人取り残さない移行の道筋が必要。

1. AI、デジタル化、自動化の進展

新技術・デジタル化・AI・自動化によって、働き方や職場が大きく変化しています。



自動改札と無人運行 — 都市インフラの自動化



無人運転車両 — 港湾・物流の現場でも実装が進む

問い ▶ 機械に置き換わる仕事と、人にしかできない仕事は何か。いま起きている変化は？

1. AI、デジタル化、自動化の進展

働き方が変わる

2022年11月に ChatGPT が公開されて以来、生成AIが得意とする情報収集・ルーティンワーク・言語・画像生成などのタスクを多く含む業種で、**雇用者数が減少**。

一方で、現場・対人・身体性のある仕事はむしろ人の手が必要に。

職場が変わる

人員不足・効率化・生産性向上を理由として、次のユニコーンを目指すベンチャー・スタートアップが参入。
各地で、自動化・高度自動運転・無人運転などの検証が相次ぐ。

SCENE

「人 vs AI」ではなく、「AIをどう使いこなすか」が問われている。

職場での発言力

技術導入の意思決定に、現場の声を
入れる仕組みが必要。

技能の継承

熟練の判断・安全管理を、データだけ
に置き換えてはいけない。

再教育・配置転換

技術変化に押し流されない、学び直
しの権利と機会を。

2. グローバル・サプライチェーンの拡大

世界の物流は一本につながった。巨大プラットフォーム企業が誕生し、現場の力関係も塗り替わっている。



海・空・陸・倉庫 — 物流は一連のネットワーク



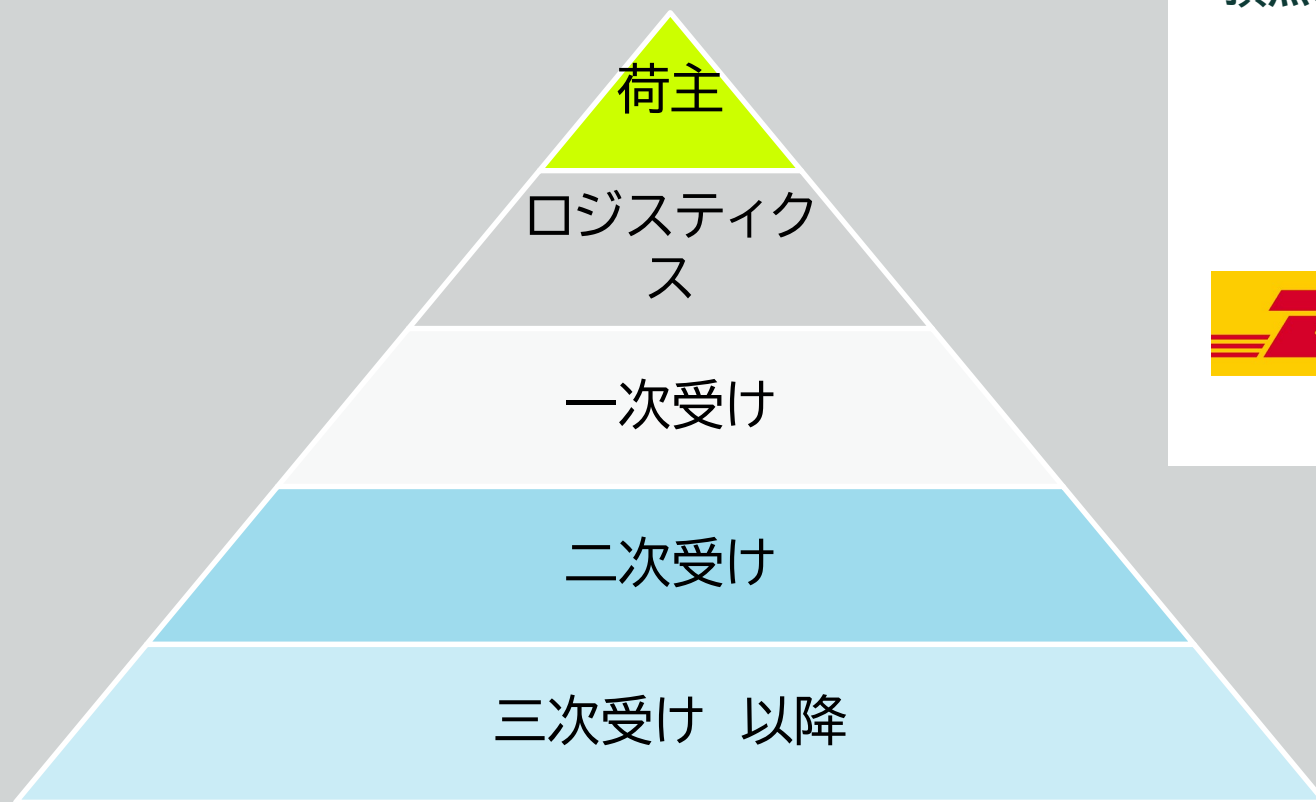
巨大企業がデータと拠点を握り、ネットワークを支配

KEY EXAMPLES

Coca-Cola・Amazon・H&M・MAERSK・DHL・UPS・FedEx — 一握りの巨大企業が世界の物流を握る時代へ。

2. グローバル・サプライチェーンの拡大

グローバルチェーンの多層化・複層化が加速。下請けほど運賃交渉ができず、適正な対価を得られない構造。



頂点の「巨大企業」たち



3. 不安定雇用の拡大

人手不足が進む。一方で、雇用は不安定化 — その構造的な背景を見ていく。

KEY POINTS — POPULATION CRISIS

人口減少が進む日本

日本の総人口

1億2,304万人

5年間で **309万人減**

2010年ピークから **500万人減少**

2070年予想 **9,000万人**

背景にあるのは、**少子化と高齢化**の進行。

出典：総務省統計局・国立社会保障人口問題研究所

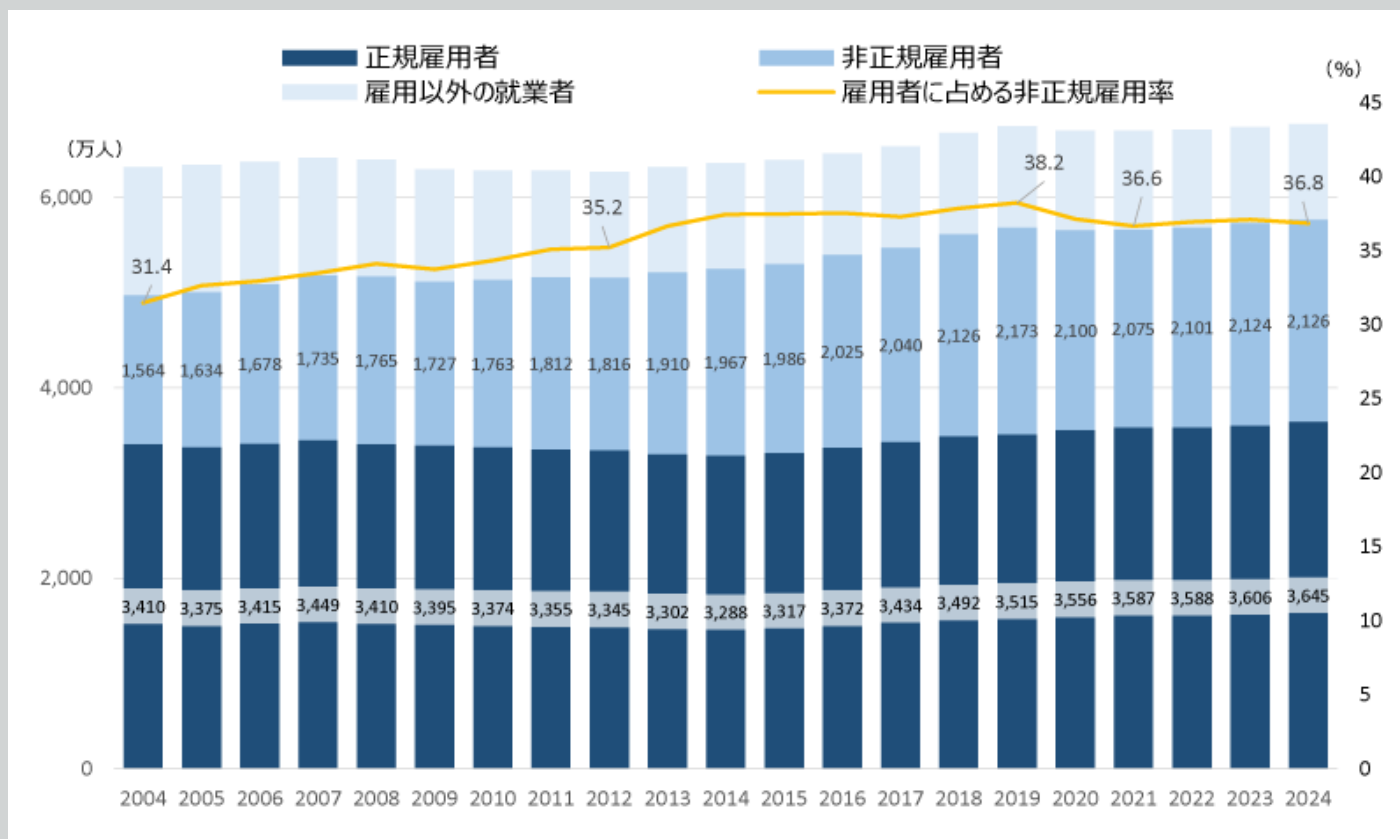
STRUCTURAL ISSUES

人口減少による構造的な問題

- ① **労働力不足**
人が足りない。採用できない。地方では、仕事があるのに営業できない状態が増えている。
- ② **社会保障の増加**
現役世代が減る。高齢者が増える。少ない人数で多くの社会保障を負担する構造に。
- ③ **地方の縮小**
都市に集中。**地方では若者が流出。**公共交通やインフラが維持できない地域が広がる。

3. 不安定雇用の拡大

でも、不安定雇用と格差は広がっている — 人手不足の裏で何が起きているのか。



WHAT THE DATA TELLS US

広がり続ける格差

正規・非正規の賃金格差

約1.5倍

日本の貧困状態

6人に1人 = 相対的貧困状態にある

ひとり親世帯の貧困率

44.5%

▶ 人口減少だけが問題ではない。
分配の不平等こそ、現場の本当の課題。

4. 女性、多様な労働者への課題

女性や多様な労働者への期待が高まる一方、まだ就労環境が整っているとは言えない。



物流・倉庫で広がる多様な背景の労働者



港湾の現場でも、女性技能者の登用が拡大

施設・装備

更衣室・トイレ・装備サイズ — そもそも女性を想定していない現場が多い

ハラスメント

セクハラ・パワハラを許さない仕組みと、相談先の存在が不可欠

外国人労働者

言語の壁・在留資格の制約・賃金差 — 同じ仕事に同じ尊厳と権利を

5. 気候変動と「公正な移行」

一人では解決できない問題が増えている。公正な移行は、だれの責任か？



気候変動 — 干ばつ・洪水・海面上昇



公正な移行 — 誰が負担を担うのか



人が、人らしく働くこと — 移行の中心へ

「公正な移行」の4原則

① 社会対話

政府・企業・組合が同じテーブルで議論

② 雇用と所得の保護

転換期に職と生活を失わせない

③ 再教育・再配置

学び直し・キャリア転換の権利を保障

④ 地域への支援

影響を受ける地域コミュニティへの投資

大きな変化＝危機を、機会と捉えて

”

交通運輸労働者が、みずから「声をあげる」、
そして社会に「声を届ける」

そのためには、「つながる力」が必要



OUR TIME — THE TIME FOR LABOUR & SOLIDARITY

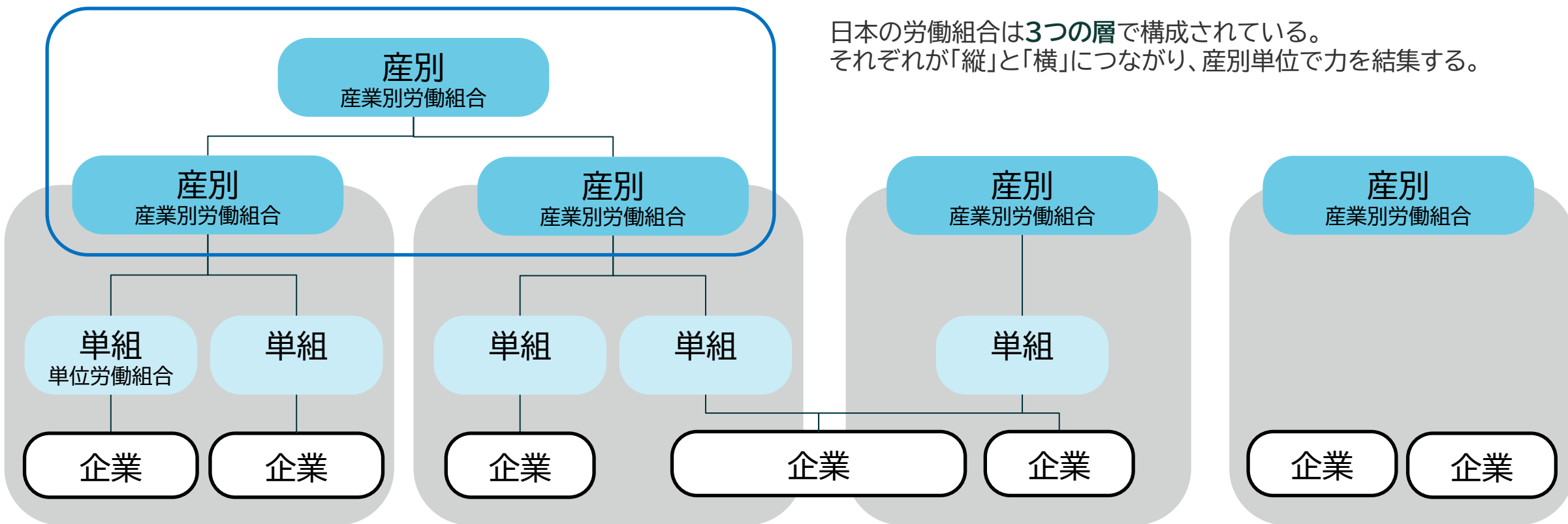
労働組合・国際連帯の出番だ！



ITFって、ナニモノ？

— 1896年創設の国際運輸労連、その正体 —

労働組合は、どうつながっている？



- ▼ **単組(単位労働組合)**:一つの企業に所属する組合員で構成されることから「企業別労働組合」とも呼ばれる。
- ▼ **産別**:同じ産業の単組が集まり、産業全体で交渉力をもつ。全国港湾も、港湾産業の産別組織として位置づけられる。
- ▼ **国際連帯**:その産別が国境を越えてつながったとき、初めて「グローバル労働運動」が動き出す。

世界につながる労働組合

国内の組合は、2つの国際組織を通じて世界とつながる。ITFは産別側のグローバル組織。

日本労働組合総連合会(連合)

JTUC-RENGO

全国労働組合総連合(全労連)

ZENROREN

全国労働組合連絡協議会(全労協)

ZENROKYO

国内 | DOMESTIC

国際労働組合総連合(ITUC)

The International Trade Union Confederation

ナショナルセンター(各国の労働組合連合)が集まる組織

GLOBAL UNION FEDERATIONS — GUFs

国際産業別労働組合組織(GUFs)

★ THIS IS WHO WE ARE

国際運輸労連(ITF)



- ・インダストリアル(IndustriALL)
- ・UNIグローバルユニオン(UNI)
- ・国際食品関連(IUF)
- ・国際建設林業(BWI)
- ・教育インターナショナル(EI)
- ・国際ジャーナリスト連盟(IFJ)
- ・国際公務労連(PSI)
- ・国際芸術・エンターテイメント(IAEA)

国際 | GLOBAL



INTERNATIONAL TRANSPORT WORKERS' FEDERATION

国際運輸労連

ロンドンに本部、世界に7つの地域事務所





世界中の運輸・観光労働者が、ひとつの連帯に。

COUNTRIES

150カ国

に広がるネットワーク

AFFILIATE UNIONS

750組合

が加盟する産別連合

MEMBERS

1,600万人

の交通運輸・観光サービス労働者が結集

ITFは、加盟組合が動かす組織

意思決定は 加盟組合からの選出 によって積み上がる。トップダウンではない、加盟組合主導の民主的な構造。

DECISION FLOW — ITF AFFILIATES

ITF加盟組合からの意思決定の流れ

ITF 加盟組合
AFFILIATE UNIONS

▼ 選出

大会 — Congress

5年に1度、最高意思決定機関

▼ 選出

執行委員会 — Executive Board

▼ 選出

運営委員会 — Management Committee

日常運営の意思決定を担う実働機関

GLOBAL · INDUSTRIAL SECTIONS

産業別部会・部門・横断プログラム

Industrial sections, departments and cross-sectoral programmes

部会総会 / Conference

部会委員会 / Committee

加盟組合は、自分の関係する部会や部門に所属

REGIONAL STRUCTURE

地域 — Region

7つの地域事務所が、各国組合と現場を支える

地域総会 / Region Conf.

地域委員会 / Region Cttee

アジア太平洋地域事務所は、東京と本部がリードする アジアのハブ。

世界の交通運輸・観光サービス労働者をつなぐITF

産業別部会・部門・横断的プログラム

Industrial sections, departments and cross-sectoral programmes

鉄道労働者部会

Railway Workers

路面運輸労働者部会

Road Transport Workers

内陸水運部会

Inland Navigation

港湾労働者部会

Dockers' Section

船員部会

Seafarers'

水産部会

Fisheries

民間航空部会

Civil Aviation

観光サービス部会

Tourism Services

特別船員部門

Special Seafarers' Dept.

女性労働者部門

Women Transport Workers'
Dept.

青年労働者部門

Young Transport Workers'
Dept.

都市交通プログラム

Urban Transport Cross-
Sectoral

倉庫・流通・ロジスティクス部門 横断的プログラム

Warehousing, Distribution & Logistics Cross-Sectoral Programme

各部会・部門は **独自の総会・委員会** を持ち、同じ仕事をする世界の仲間と直接、課題と戦略を共有できる仕組みになっている。

黄色の部門は「横断的プログラム」— 性別・世代・地域などを越えてアプローチする組織横断テーマ。

地域 / Region

7 regions worldwide

欧州地域

Europe

★ アジア太平洋地域

Asia Pacific ← 東京事務所

北アメリカ地域

North America

ラテンアメリカ・カリブ海地域

Latin America & Caribbean

アラブ地域

Arab World

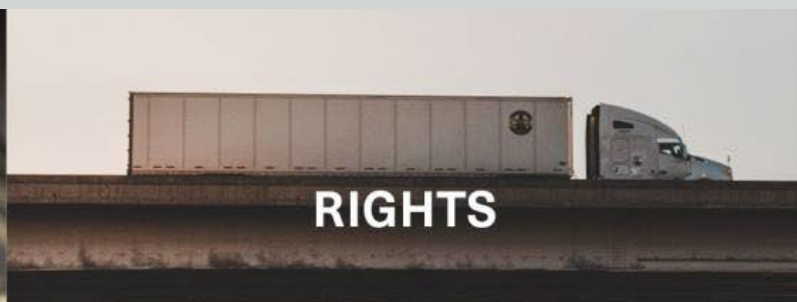
アフリカ地域

Africa

ビジョン「世界を動かす交通運輸」



平等 — 性・年齢・国籍を超えて



権利 — 団結権・交渉権・ストの権利を



安全 — 命を削らずに働ける現場を



未来 — 次世代に手渡せる仕事を



持続可能性 — 公正な移行を労働者側から



説明責任 — 荷主・発注者にも責任を

この6つの要求を、世界の仲間と一緒に「実現」していく。



そのとき、ITFが動く！ リアルな連帯のチカラ

— 4つの主要キャンペーン —

リアルな連帯の力

ITFは、現場の課題に合わせてキャンペーンを世界規模で展開。皆さんに関係するものを見ていく。

1

FOC・POC CAMPAIGN

FOC・POC キャンペーン

便宜置籍船(FOC)や巨大港湾企業は、国境を越えて事業を展開している中、一国・一組合だけでは交渉が難しい。
加盟組合が 国を超えて**連帯・連携**し、賃金・雇用・安全を守るため
に行動する。

2

SAFE RATES

セーフレート・キャンペーン

荷主や元請企業による **過度な値下げ圧力** が、賃金低下や長時間労働を招いている。
適正な運賃が確保されなければ、安全な輸送も維持できない。
ITFは公正な運賃と持続可能な輸送産業を求めている。

3

SUPPLY CHAIN ACCOUNTABILITY

サプライチェーンの責任

荷主・グローバル企業は物流全体から **利益を得ている**。
しかし労働問題は下請けや現場に押し付けられがち。
ITFはサプライチェーン全体に労働者の権利を守る責任を求めている。



ITFから見た便宜置籍船(FOC)の仕組み

FOC — FLAG OF CONVENIENCE

船主が実質所有国とは別の国に船籍を置くことで、**規制・税負担・労務コスト**を引き下げる仕組み

THE MECHANISM / 仕組みの流れ

STEP 01 実質船主国

BENEFICIAL OWNER

本来は、船舶所有国の労働法・税法・船舶規制に従い、船員の保護も自国制度の枠内にあるはずが

例：日本・欧州・北米の海運企業

船籍を
移転

STEP 02 便宜置籍国

FOC REGISTRY

船籍を便宜置籍に移転し、所有国とは異なる旗を掲げることで、

例：パナマ・リベリア・マーシャル諸島ほか

回避が
成立

STEP 03 船主のメリット

REGULATORY ARBITRAGE

- ✓ 登録料が安い
- ✓ 税負担が軽い
- ✓ 労働・安全規制が緩い
- ✓ 船員国籍規制なし

⚠ 結果として起きていること / THE CONSEQUENCES

先進国の船員が減少し、発展途上国の船員へ乗り替わる。
結果として、**船員の労働条件・安全衛生が悪化**している。

48 カ国

ITF指定のFOC国数
(2025年時点)

50 %+

世界商船隊のうち
FOC国に登録された比率

15,663

現行ITF協約数
(2025年, 船員保護の砦)

FOCキャンペーン

THREE LINES OF DEFENCE
船員を守る3つの実働ライン

HOW ITF PROTECTS SEAFARERS

便宜置籍船であっても、船員の賃金・労働条件・人としての尊厳を守るための3つの実働ライン

THE THREE LINES / 3つの実働ライン

01

LINE ONE — STANDARDS
国際基準を引く

ITFが承認するCBAを締結する活動

船社・船主に対して、最低賃金・労働時間・休息・補償を定めた団体協約(CBA)を締結するよう求める。FOC船であっても国際基準の賃金ラインを引く。

現行ITF協約数

15,663

02

LINE TWO — INSPECTION
船内に直接、現場へ

ITFインスペクターによる査察活動

世界の港においてインスペクターが査察を実施。船内で直接、契約・賃金・労働条件を確認。違反があれば是正を求め、必要に応じて連帯ストにつなぐ。

年間査察隻数

9,000隻

03

LINE THREE — REMEDY
奪われた賃金を取り戻す

未払い賃金の回収
労働者保護

45.2

百万米ドル / 約72.5億円

2025年に船員へ取り戻した未払い賃金

国境を越えるFOC船には、国境を越える労働運動で対抗する / この活動は、世代が引き継ぎ、強くしていく。

POCキャンペーン

PORTS OF CONVENIENCE

港湾労働者のために

Q

FLAG OF CONVENIENCE FOR PORTS

便宜港湾(FOC)とは？

グローバル化と規制緩和を利用して、港湾労働のコストを切り下げる経営戦略が取られている港。組合の力を弱め、労働条件を壊す動き。

01 規制緩和・グローバル化の悪用
多国籍企業が制度の隙間を狙い、安価な労働環境を選別

02 労働条件の切り下げ
賃金・安全基準・福利を引き下げ、競争力という名のコスト削減

03 労働時間・作業の過度な柔軟化
シフト乱用、過剰な兼務、安全マージンの圧縮

04 未組織・有期労働者の活用
組合に入れない短期雇用で、団体交渉力を空洞化

05 船員による荷役・協約不履行
本来の港湾労働者の仕事を奪い、労働協約を骨抜きに

!

GLOBAL TERMINAL OPERATORS

巨大港湾企業による寡占化

世界の港湾運営は、ごく少数のグローバル・ターミナル・オペレーターに集中。労働条件は彼らの方針で決まります。

上位7社で、世界のコンテナ取扱量の

40%

を支配

Equity Throughputベース
世界全体のコンテナ取扱量に対するシェア

THE BIG SEVEN / グローバル港湾オペレーター上位7社

01
PSA

02
China Merchants

03
COSCO

04
APM Terminals

05
DP World

06
Hutchison Ports

07
MSC / TIL

ACTION
国際連帯で
対抗する

セーフレートキャンペーン

#SAFERATESSAVELIVES

安全報酬で命を守る

Q WHAT ARE SAFE RATES? セーフレート(安全報酬)とは？

すべてのドライバーが、労働時間に対して適切な報酬を受け取れる公正な賃金体系。命を削る運転を、根本から無くす取組み。

UNSAFE PRACTICES / 低賃金が生む危険な運転行為

01 過労運転
長時間労働で生計を立てざるを得ず、疲労を抱えたままハンドルを握る

02 速度超過
無理な納期に追われ、本数を稼ぐためのスピード運転を強いられる

03 過積載
一回でも多く稼ぐため、車両の安全マージンを超えて荷物を積む

04 整備の手抜き
維持・整備コストを切り詰め、点検サイクルを延ばしてしまう

結果 ▶ 道路は、ドライバー・市民・荷主、すべてにとって危険になる

! THE EVIDENCE — ITF RESEARCH 公正な賃金が、事故を減らす

ITFの研究では、ドライバーの賃金とトラック事故の発生率に明確な相関があることが示されています。

賃金が1%上がるごとに、事故は

1-3% 減少する

出典:ITF Safe Rates Evidence
複数の国際研究によるレンジ値

FOUR PRINCIPLES / セーフレートの4つの原則

01
すべての労働時間に正当な対価
積み下ろし・待機・国境通過も報酬対象に

02
サプライチェーン全体の責任
元請荷主・プラットフォーム企業も責任を負う

03
監視と執行の仕組みを担保
違反を見逃さない、強い実効性を持つ制度に

04
労働組合が必ず関与
基準づくり・監視・執行の全段階に参加

サプライチェーンの責任を求める活動

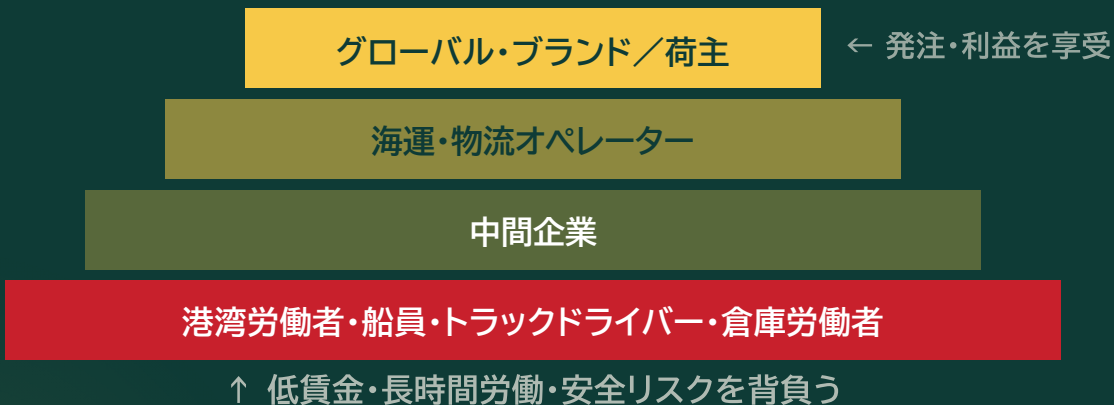
HOLD CORPORATIONS
ACCOUNTABLE
荷主にも責任を

OUR POSITION

モノを運ぶ仕事のすべての労働者に、**ディーセント・ワーク**を。発注する荷主・投資家・政府にも責任がある。

！ 責任が「川下」に押し流される構造

商品を発注する**グローバル・ブランド**はサプライチェーンの頂点に立つが、輸送業務は多段階の下請けに丸投げ。コスト圧力と責任が、現場の労働者にだけ押し付けられている。



結論 ▶ 頂点に立つ「発注者」にも、法的・道義的責任を負わせる

✓ ITFが進める「3つの柱」

01 国際基準を打ち立てる

UN指導原則・OECDガイドライン・ILO三者宣言を土台に、輸送業務の人権デューデリジェンス(HRDD)を企業へ義務付ける

02 新しいルールを実効化する

各国にサプライチェーン法の制定を求め、EU CSDDD等の実効ある執行・違反企業への制裁を担保

03 サプライチェーン全体で組織化

船員・港湾・道路・倉庫・航空 — 147カ国 / 1,650万人の輸送労働者の力を束ね、企業と直接交渉できる体制をつくる

New Look・TFG Group ほか主要ブランドがITFとMoU締結

国境を越えてつながる仲間たち

— ITFの下に、世界中の組合員が一堂に会する —

EVERY FIVE YEARS — THE WORLD IN ONE HALL

5年に1度、世界中から仲間が集う

150カ国・1,600万人の交通運輸労働者を代表する **最高意思決定機関**。
次の5年間の戦略・予算・役員人事をここで決める。

SOLIDARITY IN ACTION

一つの空間に、世界の労働運動が集まる

「一人ではない」と、肌で感じる瞬間。

壇上では、世界各国の組合代表が議論を交わす。
会場では、現場の仲間が拍手で応える。
国・言語・職種を超えて、同じ立場で考え、同じ未来を描く場所。



ITF大会 — 世界の仲間の熱気



国境・職種・言語を超えて、声を響かせ合う数千人の労働者たち

青年・女性の活躍が未来を変える

— 次の世代に手渡せる労働運動へ —

大会で積極的に発言する女性・青年代議員たち



完璧じゃなくていい、 あなたができる第一歩

— まずは「会話」から、明日へ —

皆さんへのお願い

REQUEST 01 / 06 — START THE CONVERSATION

1

職場の仲間と会話することから始めよう

WHY —

労働組合・国際連帯のスタート地点は、「同じ現場で働く人と話すこと」。
現場の不満や違和感を共有しなければ、課題は見えてこない。

HOW —

小さな対話の積み重ねが、組合を強くする

- ✓ 休憩中・通勤中の「最近どう？」
- ✓ 困りごと・体調・家族の話聞く
- ✓ 違和感を「私だけかな？」と確かめる
- ✓ ベテランから現場の歴史を聞く
- ✓ 隣の班・他の港の仲間とつながる
- ✓ 国籍が違う仲間とも、まず挨拶から

皆さんへのお願い

REQUEST 02 / 06 — JOIN ACTIVITIES & EVENTS

2

ITFなど組合の活動やイベントに参加しよう

WHY —

会話だけでは「気持ち」までは伝わらない。
実際の現場で 仲間が動く姿を見る ことで、自分の中に「やってみよう」が芽生える。

A

組合の定期大会・集会

議論の進め方、決議の作り方を肌で学ぶ場。

B

ITFアクションウィーク

世界同時に行動する週。SNSや街頭で連帯を示す。

C

青年・女性会議

同世代の代表が、自分の言葉で語る場。次のリーダーがここから生まれる。

D

国際派遣・研修

海外の仲間と直接交流できる、人生を変える1週間。

皆さんへのお願い

REQUEST 03 / 06 — SHARE ON SOCIAL MEDIA

3

SNSを活用して情報発信しよう

WHY —

皆さんにしかできないことがあります。

同世代に届く言葉を持っているのも、職場の未来を語れるのも、組合の声を「自分の言葉」で伝えられるのは、皆さん自身です。

X / Twitter

速報・ハッシュタグ連帯
#saferatessavelives
#dockworkers

Instagram

現場の写真・ストーリー
職場の風景や仲間の表情を、リアルに発信

TikTok

短尺動画で技術伝承
仕事のかっこよさを若い世代へ

LinkedIn

海外の仲間と職業的連携
研修・キャリアの情報共有

皆さんへのお願い

REQUEST 04 / 06 — BRING IN YOUTH & WOMEN VIEWS

4

青年・女性の視点を組合に伝えよう

WHY —

組合の意思決定は、ベテランの男性中心になりがち。あなたの違和感は、次世代の組合の宝。

①

「当たり前」を疑う視点

「昔からそうだから」で済まされている習慣。本当に必要？ 安全？ 公平？

②

体・暮らし・家族の視点

育児・介護・健康問題は、職場の制度に直結する。声を上げないと、変わらない。

③

デジタル・新技術の視点

新しいツールやAIへの感度は、若い世代がリード。経営側の論理に振り回されない議論を。

皆さんへのお願い

REQUEST 05 / 06 — CONNECT INTERNATIONALLY

5

国際的な仲間とつながろう

WHY —

港湾労働者は、世界中に 同じ仕事をする「兄弟・姉妹」がいる。海の向こうの仲間と話せば、あなたの当たり前が違って見える。

HOW — 4 ENTRY POINTS

海外の仲間とつながる、4つの入り口

▼ ITF港湾部会

世界の港湾労組と直接つながる公式ルート

▼ アジア太平洋会議

同じ地域の組合員と顔の見える関係を築く

▼ ITF研修プログラム

短期派遣・オンライン学習で海外を体験

▼ ITF東京事務所

困ったとき・つながりたいとき、まず相談を

▶ 英語が不安？ 大丈夫。最初は通訳・翻訳ツール・先輩同行で十分。「行ってみる」が第一歩。

皆さんへのお願い

REQUEST 06 / 06 — DEEPEN YOUR OWN LEARNING

6

自分自身の学びを深めよう

WHY —

知らないことは、不安になる。学ぶことは、自分を守り、仲間を守る力になる。

LAW & RIGHTS

労働法・労使関係

労働基準法、団体交渉、就業規則
— 自分の権利を知る基本。

INDUSTRY

業界・産業の動き

市況、サプライチェーン、自動化技術
— 現場を取り巻く変化を理解する。

COMMUNICATION

伝える・聴く力

プレゼン・ファシリ・対話術 — 主張を相手に届ける技術は、後天的に身につく。

GLOBAL CONTEXT

世界の労働運動

各国の歴史・成功事例・失敗から学ぶ。ITF出版物・現地レポートが入口。

WE MOVE THE WORLD